

令和7年実績

大分県産加工食品 輸出調査結果

輸出額 2,453百万円（前年比225%） — 過去最高を大幅更新

大分県 商工観光労働部 商業・サービス業振興課

目次

01

大分県産加工食品 輸出実績

- 輸出額推移
- 国別輸出額
- 品目別輸出額・推移
- 品目別内訳（酒類・調味料・菓子類・飲料）

02

大分県内事業者 アンケート

- 輸出に関心のある国・地域
- 輸出をする上での障害

1 令和7年 大分県産加工食品輸出調査 概要

実施方法

対象 県産加工食品製造・販売事業者（R7.1～12の輸出実績）

期間 令和8年4月～5月

照会 E-mail、各支援機関からの照会

回収 kintone

370社

照会数

106社

回答数

うちR7年輸出
実績あり57社

28.5%

回答率

昨年度から
+1.7pt

回答者属性 ※（）内は昨年回答社数

酒類

20社（24社）

調味料

10社（12社）

菓子類

3社（10社）

飲料

5社（7社）

その他加工食品

68社（51社）

1 県産加工食品 輸出額推移

大分県産加工食品の輸出額は合計2,453百万円と過去最高額を更新。
H26年からR7年までの12年間で約4.9倍に急成長した。
R7年は飲料（中国上海向け）が大幅増加。

H26 → R7（12年間）

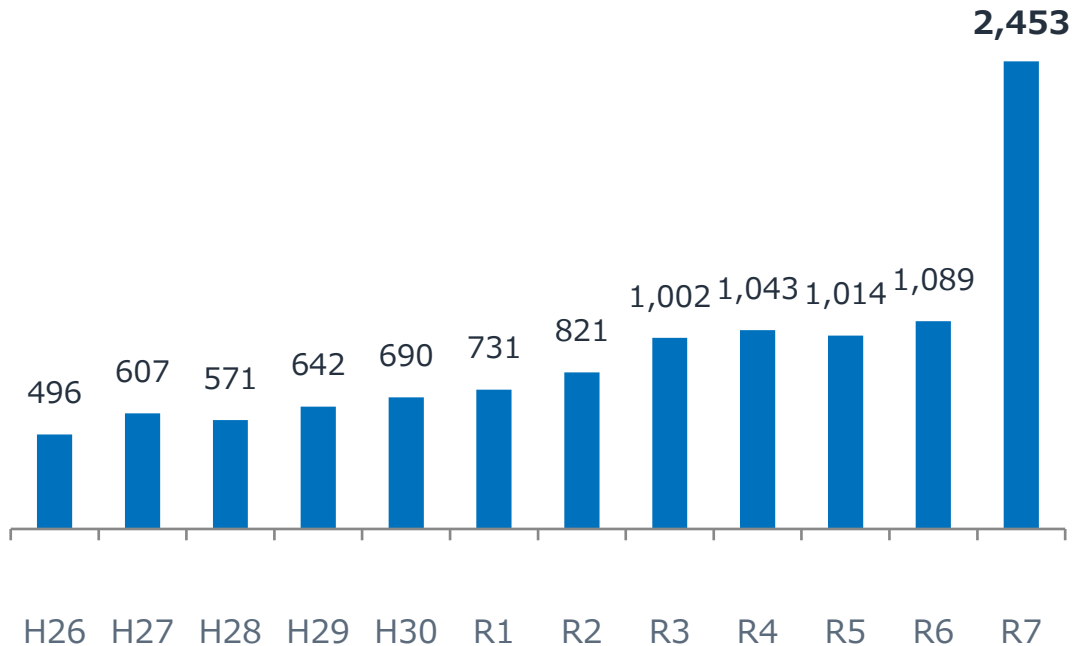
490 %

約4.9倍に成長

R7年 輸出額（過去最高）

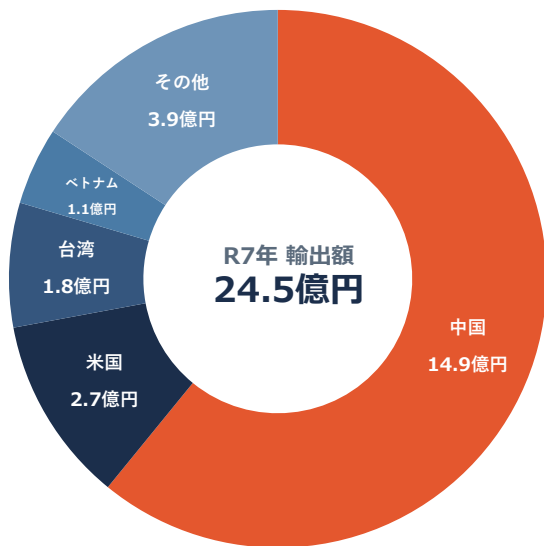
2,453 百万円

前年比 225%



1-2 国別輸出額

輸出額合計は24.5億円（前年比225%）。国別では、中国が飲料の輸出増加に伴い14.9億円と前年から約9倍に増加し、国別輸出額全体の約61%を占め1位となった。米国は2位となった。台湾は増加、ベトナムも約3倍に増加した。



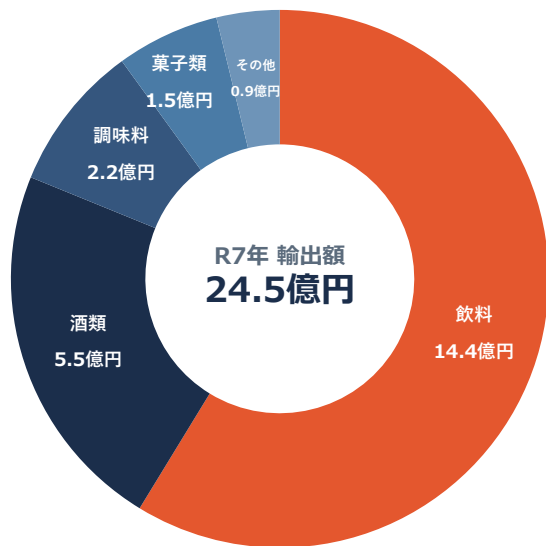
国・地域	R6実績 (百万円)	シェア率	R7実績 (百万円)	シェア率	増減率
中国	171	15.7%	1,496	61.0%	873.8%
米国	368	33.8%	274	11.2%	74.4%
台湾	167	15.4%	183	7.5%	109.3%
ベトナム	40	3.7%	114	4.6%	284.3%
その他	343	31.5%	386	15.7%	113.2%
合計	1,089		2,453		225.2%

1-3 品目別輸出額

品目別では、飲料が過去最高額の約14.4億円と、全体の58.7%を占めている。

要因は中国向け輸出が拡大したことによる。

酒類は約5.5億円で2位、調味料も過去最高額となった。

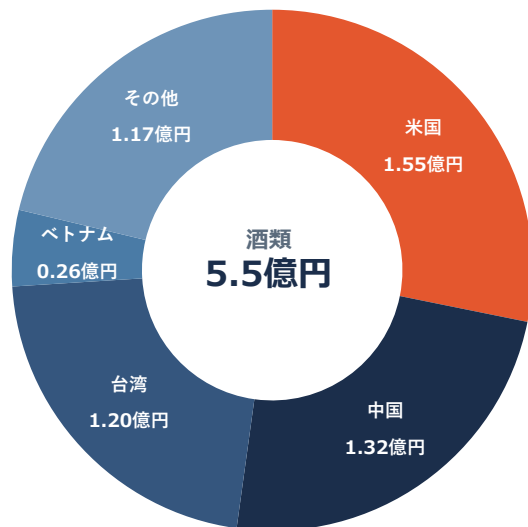


国・地域	R6実績 (百万円)	シェア率	R7実績 (百万円)	シェア率	増減率
飲料	66	6.0%	1,440	58.7%	2182.3%
酒類	520	47.8%	550	22.4%	105.8%
調味料	188	17.3%	217	8.9%	115.4%
菓子類	161	14.8%	152	6.2%	94.8%
その他（海藻類・茶葉等）	154	14.1%	93	3.8%	60.3%
合計	1,089		2,453		225.2%

飲料 66 → 1,440百万円（約22倍） 飲料が全体を牽引

1-5 品目別内訳 酒類

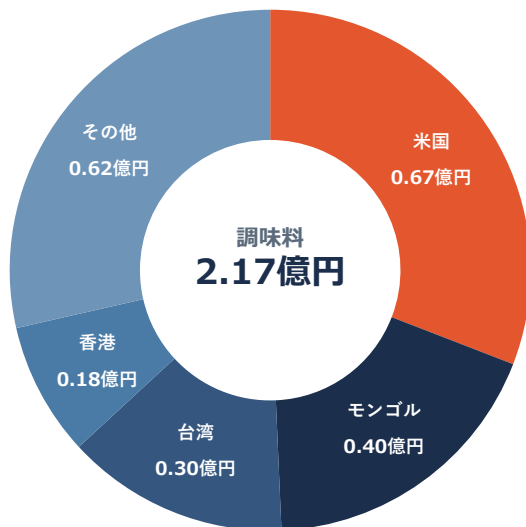
酒類輸出額の約5.5億円のうち、米国は商品発注のタイミングにより前年対比71.6%と減少したが約1.6億円と引き続き1位。中国は1.3億円超で2位となった。台湾はリキュールが好調。全体で見ると、前年比105.8%と増加した。



国・地域	R6実績 (百万円)	シェア率	R7実績 (百万円)	シェア率	増減率
米国	216	41.5%	155	28.1%	71.6%
中国	80	15.4%	132	24.0%	164.8%
台湾	106	20.3%	120	21.8%	113.3%
ベトナム	33	6.3%	26	4.8%	79.8%
その他	85	16.3%	117	21.3%	136.8%
合計	520		550		105.8%

1-5 品目別内訳 調味料

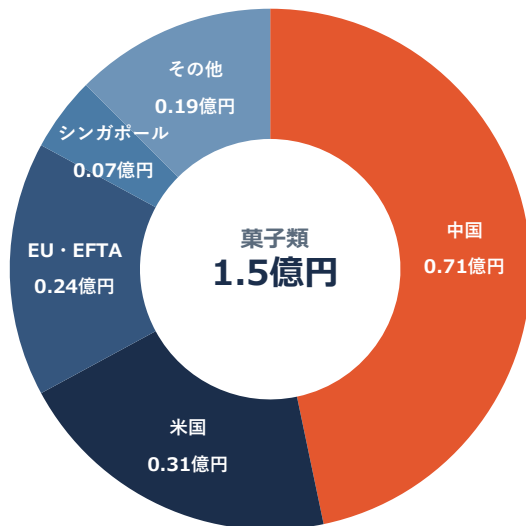
調味料輸出額は2.17億円と過去最高額を更新。米国、香港などで前年を上回った。モンゴルでは前年比160%増となり、全体で2位。特に米国ではめんつゆ、モンゴルではドレッシングが増加した。



国・地域	R6実績 (百万円)	シェア率	R7実績 (百万円)	シェア率	増減率
米国	60	32.1%	67	30.8%	111.7%
モンゴル	25	7.52%	40	18.5%	160.0%
台湾	32	17.0%	30	13.7%	93.1%
香港	14	7.3%	18	8.3%	129.1%
その他	82	43.6%	62	28.6%	75.7%
合計	188		217		115.4%

1-5 品目別内訳 菓子類

菓子類輸出額は約5%減。中国、シンガポールでの取引が引き続き好調。一方で米国は一部商品の取引減少があった。全体としては多方面への輸出が継続している。



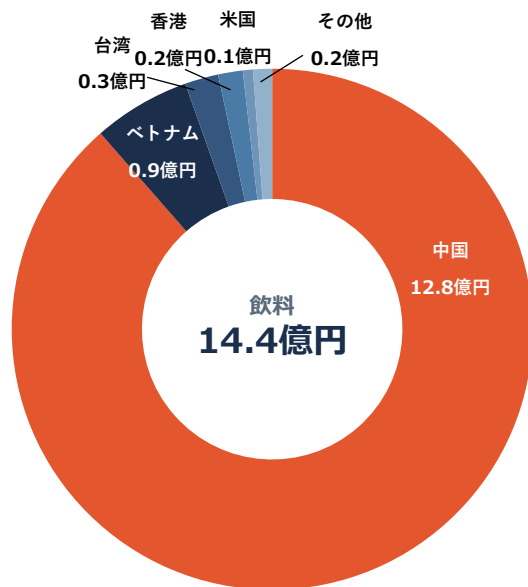
国・地域	R6実績 (百万円)	シェア率	R7実績 (百万円)	シェア率	増減率
中国	56	34.9%	71	46.7%	127.2%
米国	57	35.3%	31	20.1%	53.6%
EU・EFTA	26	15.9%	24	15.7%	92.3%
シンガポール	3	2.0%	7	4.7%	241.0%
その他	19	11.9%	19	12.7%	101.0%
合計	161		152		94.8%

1-6 品目別内訳 飲料

飲料輸出額は約14.4億円と前年の66百万円から約22倍に増加し、品目別で1位となった。

中国向け飲料（お茶・ジュース等）が全体の9割を占める。

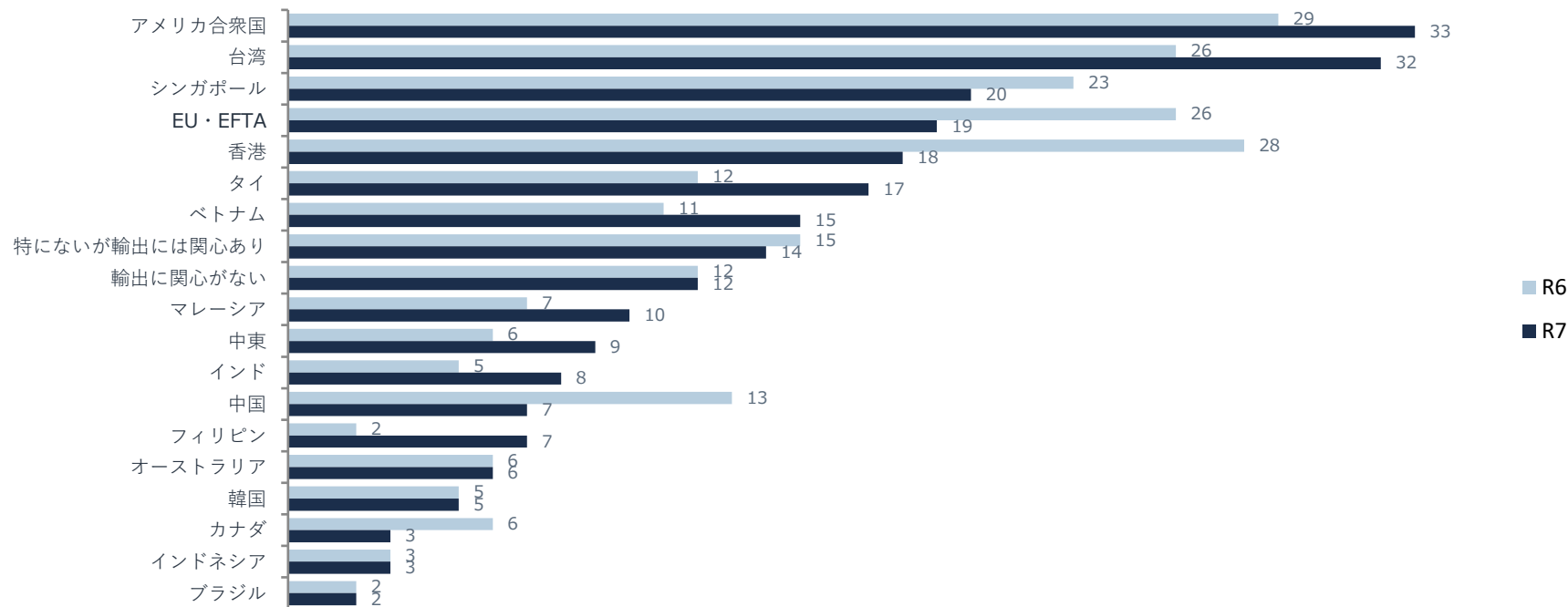
ベトナムは健康飲料等の輸出増により87百万円で2位となった。



国・地域	R6実績 (百万円)	シェア率	R7実績 (百万円)	シェア率	増減率
中国	17	25.9%	1,275	88.5%	7502.1%
ベトナム	7	10.9%	87	6.1%	1245.2%
台湾	17	25.2%	30	2.1%	176.5%
香港	8	12.2%	22	1.5%	274.3%
米国	3	4.5%	9	0.6%	298.4%
その他	14	21.3%	17	1.2%	120.7%
合計	66		1,440		2182.3%

2-1 事業者アンケート 輸出に関心のある国・地域

台湾は前年比大幅増の32社となった。第3位にシンガポールが入り、タイ、ベトナム、マレーシアといったASEAN地域への関心の高さが見受けられる。



2-2 事業者アンケート 輸出をする上で障害となっていること

昨今の国際情勢の不安定さや、各国の複雑な市場動向、規制の壁などへの対応に苦慮したり、信頼のおけるビジネスパートナーの確保や商談力、各国の市場動向・ニーズの把握、商品の選定・開発・価格に困難を感じている事業者が多い。

